

令和2年度事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、4・5月の健診実績が大幅に減少した。6月以降、新型コロナウイルス感染症対策と施設健診の稼働枠の増加や、巡回健診計画の変更により、職域健診・学校健診は予定どおり実施した。しかし、地域健診は3密回避の影響もあり、大幅減少となった。

また、環境事業については、新型コロナウイルス感染症の影響も少なく、前年度より稼働実績は増加した。

新型コロナウイルス感染症対策については、受診者・職員を守る必要もあり、十分な対応をした。また、多くの研修・事業計画が中止、WEB開催となった。

1 公衆衛生に関する知識の普及・啓発事業

健(検)診・検査の必要性を広め、受診率等の拡大につなげるため、以下の普及啓発事業を行った。

(1) 機関誌「みんなの健康」等の発行

- | | | |
|--|---|-----|
| ア 機関誌「みんなの健康」：6／1、9／1、12／1、3／1の
(内容：健康づくり、環境検査、その他) | 計 | 4回 |
| イ 事業団だより：毎月1日 | 計 | 12回 |

(2) 小・中学生の職場学習体験等

新型コロナウイルス感染症対策により中止

- ・小学生：1～2事業、中学生：3学校受入れ 予定

(3) 各種大会等の開催

新型コロナウイルス感染症対策により中止

- ・鳥取県がん征圧大会（9月1日 米子市開催予定）
- ・がん征圧年間キャンペーンを県内3カ所実施予定

(4) がん会員募集・複十字シール募金運動

- | | | |
|------------|-------------------------------|--------------|
| ア がん会員募集 | 毎年9月 | 募金額：329,000円 |
| イ 複十字シール募金 | 毎年8月～12月
9月24日～30日（結核予防週間） | 募金額：696,200円 |
- ・街頭キャンペーンについて、新型コロナウイルス感染症対策により中止

(5) リレー・フォー・ライフ・ジャパンとっとり2020

新型コロナウイルス感染症対策により中止

- ・9月26・27日 境港市 夢みなと公園予定

(6) その他

ア 企業・市町村からの講演、指導依頼への対応

(ア) 医師の講演

a 『新型コロナウイルス感染症』

9月10日 検察庁（鳥取市）

(イ) 保健師、管理栄養士の講演（昨年度：6回開催）

a 『感染症予防について』

4月7日 鳥取卸センター（鳥取市）

b 『感染症予防について』

9月18日 鳥取卸センター（鳥取市）

(ウ) 令和3年度特定健診・がん検診等に係る各種検診業務打合せ

令和3年1月13日 WEB（3回）開催

a 『令和3年度 各種報告事項等について』

b 『胃がん検診におけるHp検査の役割』

(エ) 令和2年度 鳥取県市町村等水道事業担当者連絡会：中止

イ ピンクリボン運動等の活動へ参加

(ア) 米子ピンクリボンフェスタ2020：中止

(イ) 鳥取ピンクリボンフェスタ：中止

(ウ) 世界禁煙デーin米子：中止

(エ) 鳥取市民健康ひろば：中止

ウ 新型コロナウイルス感染症対策により中止した事業

(ア) 令和2年度鳥取県健康を守る婦人の会全体研修会：中止

(イ) リレー・フォー・ライフ・ジャパンとっとり

5月 第3回実行委員会 書面開催：中止決定

9月 事業報告・実行委員長変更 書面開催

2 公衆衛生に関する必要な調査・研究事業

(1) 関係役職員が、各種専門委員会の委員として、県民の健康維持増進のための施策に参画し、鳥取県健康対策協議会へデータ提供等を行い、疾病予防へつなげた。

胃がん対策専門委員会、子宮がん対策専門委員会、肺がん対策専門委員会、乳がん対策専門委員会、大腸がん対策専門委員会、肝臓がん対策専門委員会、若年者心臓検診対策専門委員会、公衆衛生活動対策専門委員会、生活習慣病対策専門委員会に関係職員が委員として活動した。

(2) 検査結果の利活用

ア 鳥取県公衆衛生学会等への参加：第63回鳥取県公衆衛生学会：中止

イ その他

- (ア) 予防医学事業中央会 第55回技術研究会議・技術運営会議：中止
- (イ) 令和2年度健診結果(一次・二次)を各市町村へ性年齢階層別に集計し提供した。
- (ウ) 水道水質検査結果は、過去データを取りまとめて各水道事業体へ提供した。

(3) 研修等

職員の技術等のレベルアップのため以下の研修を行った。

ア 専門研修

医師・放射線・臨床検査・水質・環境測定等に係る専門知識の習得及び技術の向上を図るため、中央団体が実施する研修会へ派遣した。(11研修会 延べ52名)
(日本対がん協会・予防医学事業中央会・結核予防会・全国労働衛生団体連合会・中央労働災害防止協会・全国食品衛生協会等に派遣)

(昨年実績：72研修会 延べ108名)

【実績詳細】

- ・簡易専用水道検査外部精度管理(12/4福岡)

・WEB：開催

- 9/ 2 令和2年度第1回複十字シール運動担当者オンライン会議
- 9/10 予防医学事業中央会 新型コロナウイルス感染症対策情報交換会
- 9/18 2020年度 がん征圧全国大会シンポジウム
- 11/12 予防医学事業中央会中国四国支部意見交換会
- 11/13 令和2年度 結核予防会・日本対がん協会 中国・四国ブロック会議
- 11/25 JATA 災害時支援協力者研修会
- 11/30 第59回(2020年度)日本臨床細胞学会 秋期大会
- 12/11 第37回結核予防会事務職員セミナー
- 12/18 令和2年度第2回複十字シール運動担当者オンライン会議
- 2/26 予防医学事業中央会 全国業務担当者意見交換会

【県内実施】

実施なし

※その他専門研修等 県内(専門等10研修会、延べ32名)

イ 一般研修・・・2回開催

【8月7日～10月30日】・・・・各課複数回で実施＝全職員参加

- ・全職員対象に、交通安全、個人情報の取扱等の基礎力アップを図る職員研修

(ア) 安全衛生(資料配布)

『職員メンタルチェックについて』

- (イ) 交通安全 (DVD視聴)
 - 『事故への警告！ヒヤリ・ハット』
 - 『『自分ルール』を見直す ～初心に戻って安全運転』
- (ウ) 個人情報 (DVD視聴)
 - 『どうして盗まれる？個人情報ネットトラブルに巻き込まれない秘訣』
 - 『ネットワーク社会の情報モラル
～変わりゆくネットワーク社会のルールとマナー～』
- (エ) 人権研修 (DVD視聴)
 - 『コール&レスポンス ～ハラスメント～』
 - 『なくそう！職場にひそむ心の病 ～人権尊重の基本が傾聴にある～』

【3月25～31日 (全職員)】・・・・各課複数回で実施＝全職員参加

- ・全職員対象に、リスクマネジメント対策、人権意識等のレベルアップを図る職員研修
 - (ア) 安全衛生教育 (資料配布)
 - 『安全衛生委員会からのお知らせ』
 - (イ) 人権研修 (第45回鳥取県研究集会：DVD視聴)
 - 『新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！』
 - 『ハンセン病差別と新型コロナ禍差別』
 - (ウ) 個人情報研修 (政府インターネットテレビ+資料配布)
 - 『個人情報の取り扱いに関するヒヤリハット事例』

ウ 健診技術向上のための健診従事者研修 3月30日実施 TV会議システム利用

【内容】 医療事故防止策、ミス・トラブル報告、各委員会報告、緊急措置講習等

- ・その他 5月6日～3月26日 計28回 各項目別従事者研修会等
- 4月3日～3月12日 計14回 IS09001品質会議等 実施

エ 個人情報、情報セキュリティに関する講習

各課別実施 年2回 8月7日ほか、3月25日ほか 全職員対象

オ 中央団体が主催する管理職研修会等へ参加

- (ア) 令和2年度がん征圧全国大会 (9月18日 WEB開催)
- (イ) 第65回予防医学事業推進全国大会：中止
- (ウ) 第72回結核予防全国大会 (3月2日 WEB開催)

その他

- ・日本対がん協会全国事務局長会議：中止
- ・日本対がん協会全国支部長会議：中止
- ・予防医学事業中央会全国運営会議：2回中止
- ・結核予防会事業協議会役員会、令和2年度結核予防会事業協議会研修会並びに総会及び令和2年度結核予防会全国支部事務局長研修会並びに事務連絡会議：中止 等

3 疾病予防のための健(検)診・検査及び生活環境に関する検査事業の実績について 《健診事業について》

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施時期・方法の変更が必要となり、「新型コロナウイルス感染防止対策実施施設」としての対策及び「新型コロナウイルス感染症対策についてお願い」、「新型コロナウイルス感染症対策問診票」を作成し理解を求め実施した。職域健診は増加したが、地域健診については、全ての事業で減少した。

【地域健診】

地域健診における各健(検)診事業の受診者数は減少傾向でした。特に、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策である、3密回避の影響で、実施中止、人数制限もあり、大きく減少した。しかし、多くの自治体で予約制を導入され事前の受診人数の把握が可能となり、効率的なスタッフ配置が可能となった。

【職域健診】

巡回健診については、4～5月の新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく計画変更し実施した。また、施設健診についても、新型コロナウイルス感染症対策の上、人数制限・日程調整等し実施した。

施設健診3拠点とも、協会けんぽ生活習慣病予防健診を積極的に実施し、希望者の多い内視鏡検査も鳥取大学医学部等の協力を得て可能な限り実施した。総合検診事業では、積極的な渉外活動の結果、協会けんぽ生活習慣病予防健診、定期健康診断全項目が増えたが、健診コースの変更等により、件数は減少したが、収入が増加した。

《検査事業について》

他機関の尿検査の実施見送りの影響で、尿検査が増加した。しかし、寄生虫、細菌検査については減少した。また、学校保健安全法に基づく胸部X線検査・心電図検査等については、児童・生徒数の減少もあったが、計画とおり実施した。結果として、検査数・収入共に増加となった。

《生活環境に関する検査事業について》

食品検査部門は新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少した。しかし、浄化槽検査は、西部地区の掘り起こしにより増加、その他検査はスポット検査委託件数の増加により、収入増加となった。結果として、検査数・収入共に増加となった。

《まとめ》

検診事業では、地域健診の実施日・実施人数減により、件数・収入共に減少した。職域健診については、安定した落札と施設健診の充実により順調に増加した。また、検査事業で両事業共に件数・収入が増加した。新型コロナウイルス感染症対策継続の中、効率的な計画、スタッフ配置、未受診者のフォロー体制が今後の課題となっている。